

矢作川流域圏懇談会のゆるキャラ
「はぎぼう」

第17回 川部会まとめの会

今期の振り返りと来期の活動目標



1. 矢作川流域圏懇談会とは（目的・運営方針）

【懇談会の目的・運営方針】

懇談会の目的

- 矢作川流域圏に関係する各組織のネットワーク化を図る
- 流域圏一体化の取り組み及び矢作川の河川整備に関わる情報共有・意見交換を図る

懇談会の運営方針

(1) 市民部会の活動の活発化

- 組織のあり方を見直し、市民部会主体の勉強会やイベントの計画を行う。

(2) 流域の課題解決に向けて具体的な行動を積極的に行う

- 課題解決に向けた山・川・海部会の積極的な議論と交流を実施する。
- 勉強会やイベント等を通し、山・川・海部会の関係者が協働する。

(3) 河川整備計画のフォローアップ

- 「河川整備に関わる情報共有・意見交換」の取り組みを全体会議で共有し、意見交換を行う。

2. 第15期の活動目標

【第15期の活動目標（川部会）】

山・海・まちをつなぐ河川としての役割を認識し、他部会や外部団体を巻き込みつつ、行政や市民団体などが参加したくなるような部会を創造する。

＜テーマ＞

＜活動目標＞

⇒：今期の実績

河道に関する課題
(本川・支川)

- 上流から海までを繋ぐ役割として、上下流共通の課題である土砂問題や生き物の棲みやすい川づくりについて、情報共有および意見交換を行う。

流域圏に
関する課題

- 川まちづくりに関与する行政や関係機関から矢作川流域内で取り組んでいるプロジェクトについて、情報共有していただく。
⇒第66回川部会で、水田貯留事業について、意見交換を行った。
- 流域圏の課題を防災面・社会面から整理し、行政や市民団体などが参画できる場を創出する。
- 矢作川流域圏の特色（現状の課題や資源・資産）を整理する。

交流・共有に
関する課題

- 川を通して人と人の繋がりを広げるため、本部会がプラットフォームとして機能することを目指し、他部会・流域内外の外部団体との連携を深める。
⇒第72回山部会・川部会合同WGでカーボンクレジットの共有を図った。
- ダム・水力発電等のエクスカージョンから流域圏の課題を知っていただく。
- 整理した矢作川流域圏の特色を市民に知っていただく機会を設ける。

2. 第15期の活動実績

水田貯留事業について (テーマ②流域圏に関する課題)

○安城市の水田貯留事業

第66回川部会（令和7年1月31日）では、**安城市から流域治水対策として実施している水田貯留事業**の紹介をして頂き、意見交換を行いました。

- 事業の推進に当たっては、**水田の所有者と耕作者の理解・協力が重要**であると説明を受けました。
- 令和6年度には**学校給食**に水田貯留のお米を提供し、**水田貯留事業のPR**を行いました。生徒からは「**田んぼってすごい**」「**いつもよりおいしく感じる**」等の意見がありました。



生徒たちに配布したチラシ



水路流量調整方式による水田貯留の様子（左：平常時、右：大雨時）

2. 第15期の活動実績

矢作川流域圏懇談会及び川部会の現状と課題 (テーマ②流域圏に関する課題)

○流域圏における課題共有

第67回川部会（令和7年6月19日）では、新たに川部会座長に就任した中村先生による初めてのWGが開催されました。

中村先生を新座長に迎えて、矢作川流域圏及び川部会の現状と課題について改めて議論を行いました。

【当日挙がった意見内容を一部紹介】

- ・15年前に策定された整備計画と現代社会に少し乖離がでている中で、計画の範囲を超えた課題も共有を図る必要がある。
- ・矢作川の理想的な未来像を描くために、まずは過去の状況を整理することが重要である。
- ・矢作川本川の生物多様性は減少しているため、本川の生態系回復と親水性向上を検討すべきである。



中村先生 挨拶



会議の様子

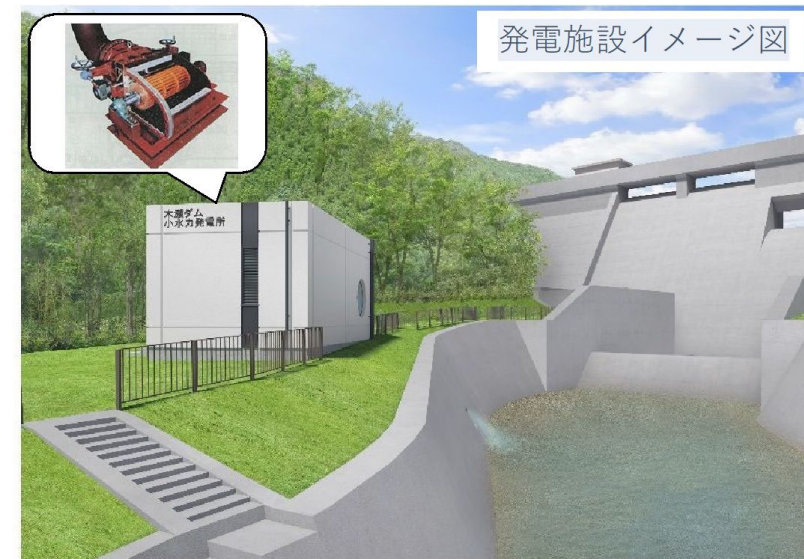
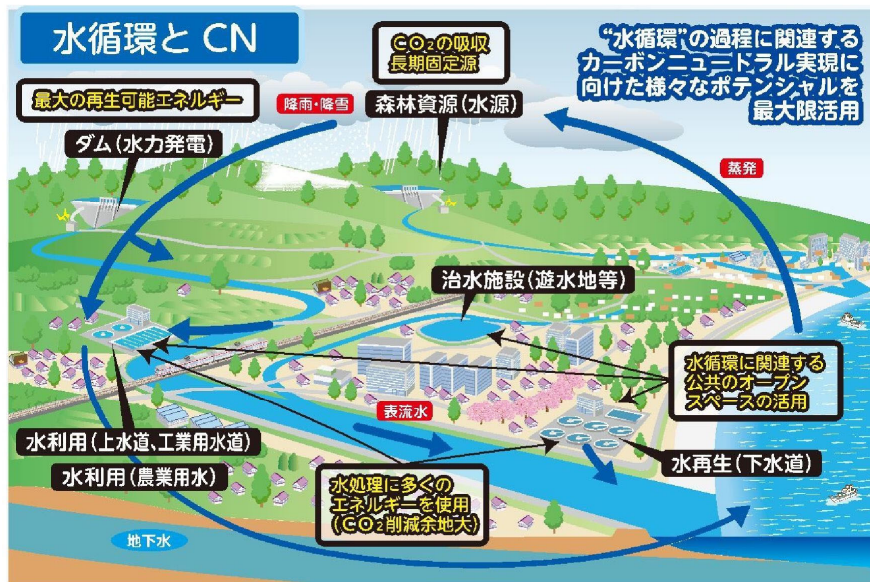
2. 第15期の活動実績

矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクトについて (テーマ③交流・共有に関する課題)

○施策の紹介

第72回山部会・川部会合同WG（令和7年6月27日）では、愛知県河川課から矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクトについて説明頂き、意見交換を行いました。

- 再生可能エネルギーの創出、エネルギーの省力化、CO2吸収量の維持・拡大等の視点より、流域の持つポテンシャルを活用することが重要と説明を受けた。
- また、矢作川・豊川CN推進協議会を設立し、各取組みを関係者一体で取り組んでいる。



ダム管理のカーボンニュートラル化
小水力発電

2. 第15期の活動実績

第17回いい川・いい川づくりワークショップ（テーマ③交流・共有に関する課題）

○いいかわづくりの紹介（近藤さん）

別途資料で説明
（まとめの会を踏まえて、加筆）

流域総合水管理について（②流域圏に関する課題）

○流域総合水管理に関する情報共有

まとめの会を踏まえて、加筆

2. 今期の活動実績（R6.12.1～R7.11.30）

【第16期の活動】

第16期の川部会の活動を下記に示す。

	活動	日時	場所・内容
第15期	第66回WG	令和7年1月31日（金）	場所：豊田市 崇化館交流館 第1研修室 内容：水田貯留事業の紹介 第15期の活動方針について
	第67回WG	令和7年6月19日（木）	場所：豊田市 崇化館交流館 内容：座長の挨拶 第14期の振り返りと第15期の活動目標
	いい川・いい川づくり ワークショップ	令和7年10月25～26日	場所：KIITO（キイト：デザインクリエイティブセンター 神戸） 内容：ワークショップ
	第17回川部会 まとめの会	令和7年10月29日 （水）	場所：豊田市 崇化館交流館 内容：第15期の振り返りと第16期の活動目標 ：流域総合水管理の紹介

3. 第16期の全体会議の活動目標

【第16期の活動目標】 下記の第15期の活動目標をベースにまとめの会で修正・追記

山・海・まちをつなぐ河川としての役割を認識し、他部会や外部団体を巻き込みつつ、行政や市民団体などが参加したくなるような部会を創造する。

<テーマ>

<活動目標>

河道に関する課題
(本川・支川)

- 上流から海までを繋ぐ役割として、上下流共通の課題である土砂問題や生き物の棲みやすい川づくりについて、情報共有および意見交換を行う。

流域圏に
関する課題

- 川まちづくりに関与する行政や関係機関から矢作川流域内で取り組んでいるプロジェクトについて、情報共有していただく。
- 流域圏の課題を防災面・社会面から整理し、行政や市民団体などが参画できる場を創出する。
- 矢作川流域圏の特色（現状の課題や資源・資産）を整理する。

交流・共有に
関する課題

- 川を通して人と人の繋がりを広げるため、本部会がプラットフォームとして機能することを目指し、他部会・流域内外の外部団体との連携を深める。
- ダム・水力発電等のエクスカージョンから流域圏の課題を知っていただく。
- 整理した矢作川流域圏の特色を市民に知っていただく機会を設ける。